

手洗いのいろいろ

これからの季節、インフルエンザやノロウイルスなどが流行りやすくなりますので注意が必要です。

そこで、一番の予防法は石けんによる「手洗い」です。

「外から帰ったら、すぐに手洗い！」をお願いします。



冷たい水がイヤだ！…そんな時は

手洗いですが、冬は水が冷たくて嫌だな、と思うことがあると思います。そんな時は水を使わないで手をきれいにする方法があります。

それは**速乾性手指用消毒剤**を使う方法です。

見た目に汚れている場合やノロウイルスを予防しようとする時は、手洗いをしなければいけません、見た目でも汚れていない場合では、速乾性手指消毒剤の使用でも手洗いと同等の効果が得られます。使い方は、速乾性手指消毒剤を片方の手のひらに1回量十分に取り（量が少ないと効果が得られない）、そこに反対の手の爪先をつけます。残りの消毒剤を反対の手のひらに移し、もう一方の爪先をつけます。あとは、手洗いと同様に、指の腹など忘れないように手全体に塗り広げ、薬剤が乾くまでこすりす。

この消毒剤にはアルコールが多く含まれるので、アルコールに弱い方は手が赤くなることがあります。また、小さいお子さんがなめたりしないように気をつけてください。



医薬品と医薬部外品の違い

速乾性手指用消毒剤の市販品には、医薬品、医薬部外品があり「消毒」と書いてあります。

医薬品は、品質・有効性・安全性を確保するため厳しい審査のもと商品化されて、万が一入院するような副作用が出た時は公的救済制度の対象になります。

医薬部外品はそれよりも易しい審査で商品化され、救済の対象ではありません。それ以外にも雑品（雑貨）として販売されている似た商品がありますが、審査はなく、企業の責任のもと商品化され、消毒より弱い「除菌」と表示されています。

医療機関など消毒を徹底しなくては行けない場所では医薬品を使用しますが、ご家庭では、安価な医薬部外品や雑品でも十分なことが多くあります。もちろん、石けんによる手洗いが一番安価ですので、状況に合わせてご利用ください。

消毒剤の選択などで迷う場合は、身近な薬剤師に是非ご相談ください。

